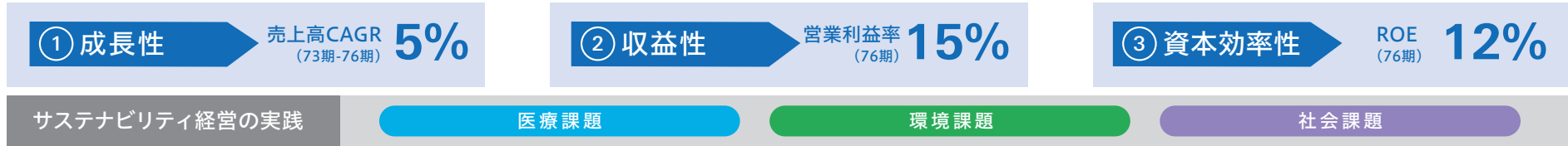
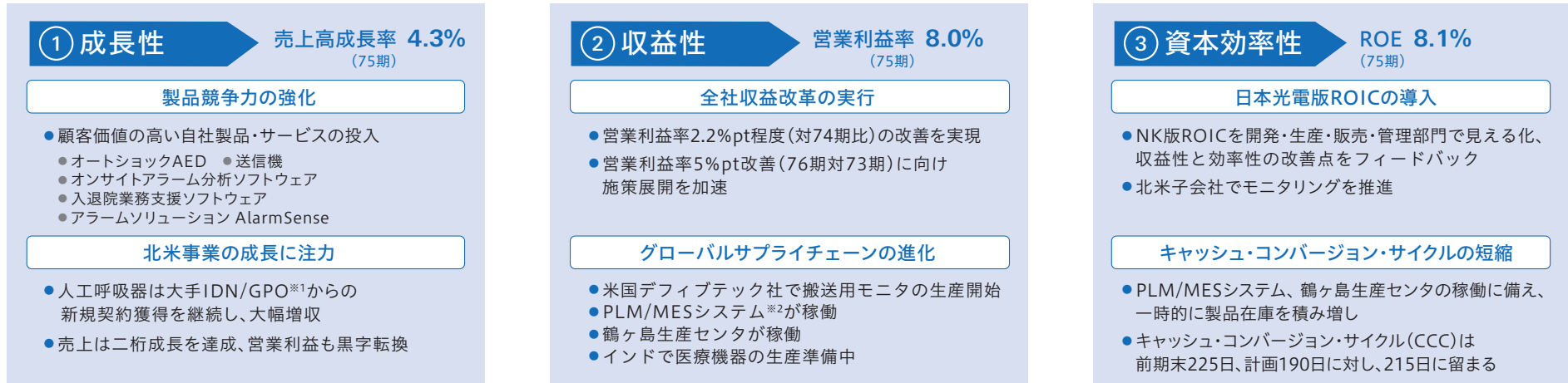


「BEACON 2030 Phase II」の進捗状況

3つの指標 Phase IIでは、全社収益改革を実行することで、成長領域への投資を本格化し、グローバルメドテック企業への変革に取り組んでいます。



2年目の振り返り 中長期的な成長に向けた事業基盤の強化は着実に進んでいますが、「成長性」「収益性」「資本効率性」の3つの指標ともに経営目標値に対して乖離が生じています。



※1 IDN(Integrated Delivery Network): 総合医療ネットワーク、GPO(Group Purchase Organization): グループ購買組織。
 ※2 PLM(Product Life-cycle Management): 製品ライフサイクル管理、MES(Manufacturing Execution System): 製造実行システム。

経営目標値・最終年度予想

第76期は、引き続き6つの重要施策を着実に実行します。国内ではアボット製品の取り扱い終了に伴い、臨床経験が豊富な人財を最大限に活用し、成長領域である人工呼吸器やDHS製品、ニューロモニタリング等への展開を強化します。さらに、北米事業の成長に注力し、全社収益改革を実行することで、収益性の改善を図ります。

	73期実績	76期目標	76期予想	CAGR
売上高	2,219億円	2,560億円	2,325億円	+2%
売上総利益率	50.2%	53%	55.5%	
営業利益 (営業利益率)	195億円 (8.8%)	385億円 (15%)	235億円 (10.1%)	+6%
親会社株主に帰属する当期純利益	170億円	250億円	150億円	
ROIC	4.0%	12%		
ROE	9.8%	12%		

平均レート(円)
1米ドル/1ユーロ 143.9/156.8 140/150 150/175

地域別売上高

	73期実績	76期目標	76期予想	CAGR
日本	1,423億円	1,570億円	1,335億円	△2%
海外	796億円	990億円	990億円	+8%
北米	370億円	500億円	563億円	+15%
中南米	60億円	60億円	62億円	+1%
欧州	131億円	140億円	138億円	+2%
アジア州他	234億円	290億円	227億円	△1%